

正式の全署長に調停方曠職の會社に於て  
 幾分の々曠歩に職工側、爾月ヲ維持し異  
 ルレバ可なりト、申出ニ依り全署長ハ直ニ  
 田崎社長ノ意見ヲ徴シタルニ會社側ハ十七  
 日午前中重役會議ヲ開キ熟議ノ上幾分曠歩  
 スルニ決シ以テ全日午後一時會社事務所ニ  
 於テ全署長立會、上尾記修正案ヲ會社側ヨ  
 リ發表シタルニ委員(職工側)一同ハ異議ナク  
 隊服ニ尚工場内ニ於テ組合理事會ヲ經テ一  
 般職工ニ諮リタルニ何レ又之ニ満足スル  
 コトナリ茲ニ解決ヲ告グルニ至レリ  
 退職手当支給規定ノ修正  
 一 第一項中勤続年數未滿ノ者ニハ一ヶ年毎ニ

日給ノ十五日分トアルヲ二十日分ニ  
 五ヶ年以上ノ者ニハ一ヶ年毎ニ日給ノ二  
 十日分トアルヲ三十日分ニ改ム  
 一 第二項中勤続年數十ヶ年未滿ノ者ニハ一  
 ヲ年毎ニ日給十五日分トアルヲ二十日  
 分ニ改ム  
 一 第三項中勤続年數十ヶ年未滿ノ者ニハ一  
 ヲ年毎ニ日給十五日分ニ改メテ十五日分  
 以上ノ者ニハ日給三十日分ノ割合ヲ以  
 テ支給スルヲ加フ  
 一 第四項中勤続一ヶ年毎ニ日給ニ日乃至十  
 日分以内トアルヲ十日乃至二十日以内  
 日分ニ改ム  
 一 第四項、次ニテ五、會社ノ都合ニ依り解職